

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から

令和3年10月
敦賀市立敦賀南小学校

5月27日（木）に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、検証し、教育活動の改善を図るとともに、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。今年度は、国語・算数の調査が行われ、その結果から敦賀南小学校の子どもたちの特徴が次のように見えてきました。



学力調査から見た南の子の ◎強み・△弱み

全体として県・全国平均を上回っており、良好！

無解答が少なく、粘り強く真面目に取り組む『南の子』の良さが結果に繋がっている。

【国語】

長文問題では…

◎記述式で解答する問題 ※近年継続して県・全国を大きく上回る

△ただし、課題となった点も

△長文から目的に応じて要約することには弱み

☆目的を意識して中心となる語や文をすばやく見つける力をつけていきます。→これからの学びで求められる「必要な情報を取り出す力」にも繋がります！

言語に関して…

◎漢字を正しく使うこと【読み書き】

◎主語と述語の関係を捉える

△修飾と被修飾の関係を捉える

☆学習する学年をスタートとし、継続して授業や家庭学習で取り上げます。



丸山さんは、「……部の」「……部の」「……部の」「……部の」と考える人を説得するために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部をくわしく書き直そうとしています。あの条件に合わせて書きましょう。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が、回らなくなることがあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。

指定された文字数で条件を満たして書く

① 反対意見とその理由
② 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げる

西田さん

【算数】

速さに関する問題では…

◎公式を活用し、計算して求めること ↔ △公式の意味理解

☆公式に限らず、式・言葉・図を関連づけて考えることで、その意味についての理解を深めていきます。

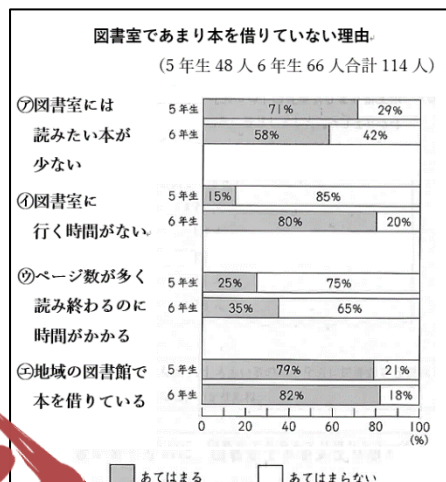
グラフ・表の問題では…

◎数量や関係を読み取ること、整理分類すること
※南小の弱みであったが、向上してきている。

記述式の問題では…

△問題を取り違えている誤答が目立つ。

☆近年、見られる傾向。正確に読み取るために、ポイントとなる言葉に着目し、常に意識して問題解決に取り組むよう、継続して指導していきます。

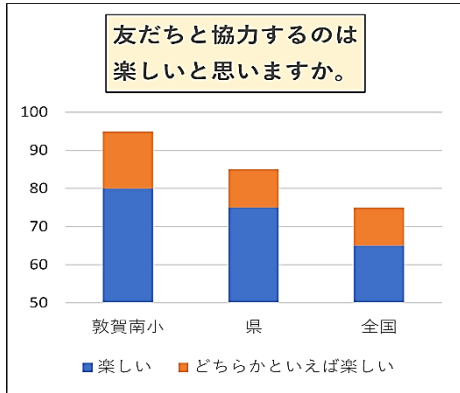


5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の割合の違いが一番大きい項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書く。

誤答の3割以上が、『割合の違いが一番大きい』ではなく、あてはまる人の『割合が一番大きい』グラフを選んでいる。

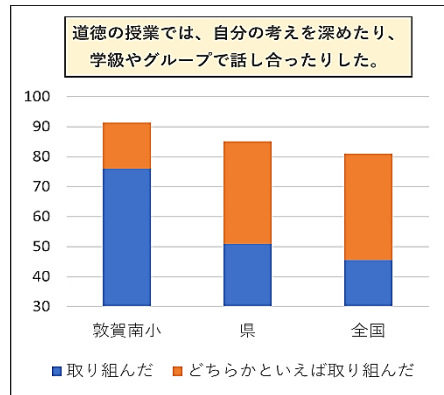
【 児童質問紙から見える南の子 】

『みんなで歩く』



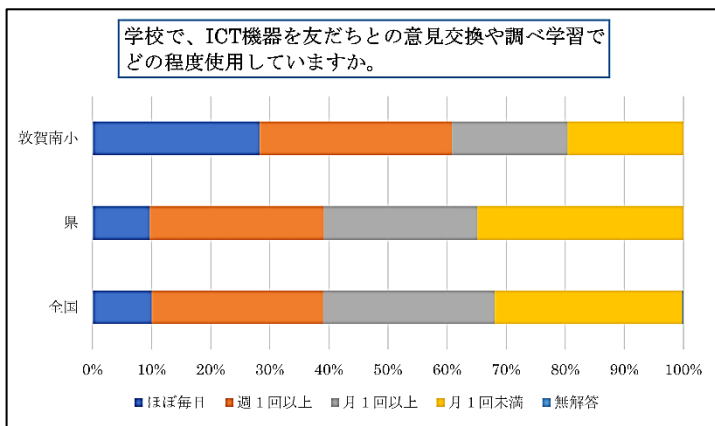
「いじめはいけない」100%
 「困っている人は助ける」「学級会で互いの意見の良さを生かして解決方法を考える」児童が多くいます。

新しく始まった教科でも



話し合いや自分の考えを深めることを大切にする姿勢は、どの教科でも、どの活動でも変わりません。

ICT 機器の活用を進めています



休校中の子どもたちは

約6割の児童が、学習への不安を感じていました。休校中「計画的な学習」「規則正しい生活」ができなかったことも原因の一つかもしれません。

その中で、学校からの課題でわからないことは「家族に聞いた」という児童が9割以上いました。敦賀南小のご家庭の教育力に改めて感謝します。

【ご家庭のみなさまへ】

○「学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」「生活の中での活用を考える」と回答する児童が県・全国に比べ、とても多くいます。ご家庭で学習と生活を結びつけた経験を重ねていただいたお陰と感謝しています。これからもよろしくお願いします。

○平日の読書の時間は、比較的短いようです。7月の保護者アンケートでも家庭読書のポイントは低くなっていました。読書の効果は広く知られています。校区内に市立図書館がある利点も生かし、進んで読書を楽しむ子の育成にご協力をお願いします。

これからもご協力を よろしくお願いします！

